

ミッション：登山道の荒廃を防げ！

登山道のオーバーユースによる土壌流出を防ぐために、神奈川県ではさまざまな取り組みが行われています。

そのひとつが、「構造型階段」の設置です。

構造型階段は、木材などでハコ型に組み立てた階段で、じょうぶで風雨に強いという特長があり、登山者が直接地面や草木を踏まずに登ることができます。

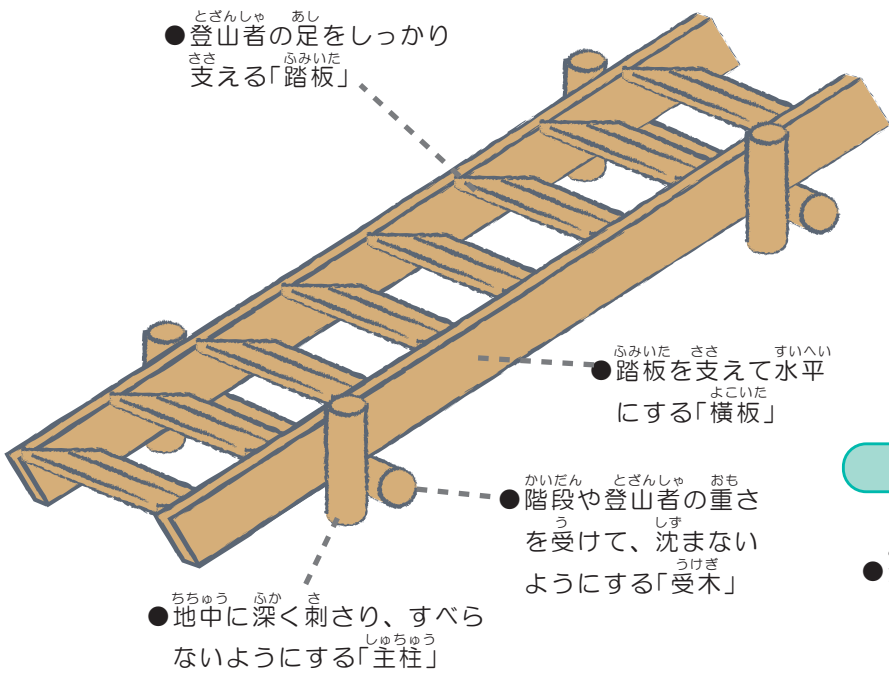
登山道を通る水を登山道の外に出す「水切り」や、構造型階段に登りやすくする「ステップ」、かたむきのゆるやかな「木道」などとあわせて、山の地面をオーバーユースから守る工夫です。

登山道を守る工夫

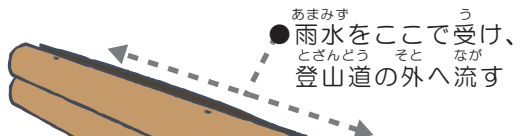


荒れてしまった登山道への構造型階段などの設置(大室山周辺)

工事後



構造型階段



水切

● 登山者が足を滑らせにくくする切れ込み

